

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
カラー		前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義100%			なし		
科目概要	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー（人それぞれに似合う色）概論を学ぶ。色彩検定日：6月25日（受験申込者のみ）						
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する（色彩応用編）。						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月10日	オリエンテーション				
	2	4月17日	・授業オリエンテーション ・色の成り立ちと色の表示（PCCS）		色彩検定の概要や取得目的を知る。PCCSで色の成り立ちの基本を理解する		
	3	4月24日	・色の表示（PCCS）、トーンマップの作成		PCCS表色系を理解し配色に活かしていく。		
	4	5月1日	・色彩心理（色の心理的効果、色の視覚効果）		色の心理的効果、色の視覚効果の習得。		
	5	5月8日	・ファッションと色彩、流行色 ・色彩調和①（PCCSを用いた色相配色）		ファッションにおける色彩や流行色について理解。色相配色をファッションを通して習得。		
	6	5月15日	・色彩調和②（PCCSを用いた色相配色とトーン配色）		色相配色とトーン配色をファッションを通して習得。		
	7	5月22日	・色彩調和③アクセントカラー、セパレーション、グラデーション等		アクセントカラーなど様々な配色技法とその効果を習得。		
	8	5月29日	・光と色①（混色と混色の身近な応用例）		混色の理解とともに、写真やSNSなど印刷物やモニター画面の混色を理解する。		
	9	6月5日	・光と色②（色が見えるしくみ、照明の色）		色が見えるしくみ、照明の色の見え方を理解する。		
	10	6月12日	・インテリアと色彩 ・検定直前対策①		項目〔全7項目〕ごとの出題ポイントを理解する。		
	11	6月19日	・検定直前対策②		項目〔全7項目〕ごとの出題ポイントを理解する。		
	12	6月26日	・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート①		カジュアルやモダンなど8種類の配色イメージをイメージスケールで理解する。		
	13	7月3日	・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート②		ファッションにおけるイメージを理解し、イメージに合わせてカラーージュ制作とカラーコーディネートが出来る。		
	14	7月10日	・パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方		パーソナルカラー理論の基礎知識を習得。		
講師区分	非常勤	講師名	堀川 彩里		関係実務経験	文部科学省後援色彩検定協会認定 色彩講師として、色彩検定やパーソナルカラー検定対策を行う他、ファッション・ブライダル・メイク・アニメ・ゲーム等各分野の企業や学校の色彩講義を担当。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
メイクアップ		後期Ⅰ	22	27.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	オンライン講義100%			なし		
科目概要	メイクアップの基本的な知識、歴史やトレンドを知ること、ファッションとの関連性を理解する。オンラインでの授業となるため実践はできないが、スキンケアの基礎知識を始め、顔の部分ごとのメイク理論の認識を高め、実践テクニックの向上をはかる。						
習得項目	1. フルメイクアップにおける基礎知識 2. ファッションテーマの創造力と企画力それに基づくメイクデザイン画の表現力 3. メイクアップトレンドの流れ 4. 就職、就業時に通用する美容とメイクの知識						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月4日	オリエンテーション 講師紹介、メイクアップ概論(歴史や目的などの解説)		メイクアップの概要		
	2	9月11日	時代とメイク#1(1930～1970) 30、40、50、60、70年代		メイクアップの歴史		
	3	9月25日	時代とメイク#2(1990～現在) 80、90、00、10、20年代		メイクアップの歴史		
	4	10月2日	時代とメイク#3(メンズメイク/ジェンダーレス)		男性のメイクアップの歴史		
	5	10月16日	基本のメイクテクニック#1 ベースメイク、アイブロウ		ベースメイク、眉毛のメイクの知識		
	6	10月23日	基本のメイクテクニック#2 アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ		アイメイクの知識		
	7	10月30日	基本のメイクテクニック#3 チーク・リップ		チークとリップのメイクの知識		
	8	11月6日	印象をつくるメイクアップ		印象をつくるメイクの方法		
	9	11月13日	コレクションメイク		ハイブランドのランウェイショーからメイクとファッションの関係性を知る		
	10	11月20日	顔型修正メイクについて		顔のつくりをメイクで変える		
	11	11月24日	スキンケアの基本		スキンケアについて		
講師区分	非常勤	講師名	名取瞳、かすみきりこ 藤井奈穂、白鳥みやこ		関係実務経験	ヘアメイクアーティストとして多数の広告や映像作品に携わる実績を持ち、技術の指導にあたる。	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
英会話			後期Ⅱ	20	25	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		オンライン講義100%			なし		
科目概要	English for fashion: colours, patterns, materials, shopping, travel, trends, daily conversation							
習得項目	English for fashion: colours, patterns, materials, shopping, travel, trends, daily conversation							
評価方法	Course work, evaluation, test (if possible)							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
	1	12月4日	Introductions, bingo, greetings			Self-introduction		
	2	12月11日	Verbs A, hobbies, apparel			Verb tenses		
	3	12月18日	Verbs B, colour palette, patterns			Colours, patterns, verb tenses		
	4	12月25日	Verbs C, materials, washing, apparel			Verb tenses, materials		
	5	1月15日	Verbs D, coordination			Verb tenses, co-ordianting English		
	6	1月22日	Mannequins, styles, trends			Fashion English vocabulataty		
	7	1月29日	Fashion history, comparisons, adjectives, adverbs			Grammar, fashion history		
	8	2月5日	International travel, fashion show			Travel English, fashion show vocabulary		
	9	2月19日	ファッションショー期間					
		2月26日	↓					
	講師区分	非常勤	講師名	Stephen Spencer		関係実務経験	英語教師:NEC, NHK文化会館, Sojitsu, Onward, Chugai, Kokuyo, Kanematsu, Mitsubishi、JリーグFC東京ホームゲームのアナウンス及びオフィシャルホームページ翻訳、ことみせ の ライター	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習		前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義20％／実習80％			（株）ニッセン（株）ベビーロック（ミシン講義）		
科目概要	縫製技術や装飾技術の基礎的な知識を習得する。						
習得項目	1. スタイリストとして現場に必要な縫製の知識と簡単な装飾技術を学ぶ 2. 期限を守る意識を身につける						
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月10日	オリエンテーション				
	2	4月17日	道具の説明と使用方法 ピンクッション製作		手縫の技法		
	3	4月24日	ピンクッション製作				
	4	5月1日	↓				
	5	5月8日			提出		
	6	5月15日	ミシン講義（企業講師）		ミシンの扱い方		
	7	5月22日	手縫の基礎		手縫の技法		
	8	5月29日	↓				
	9	6月5日			裾上げ実習	手縫の実践	
	10	6月12日	ミシンの扱い方（復習） トートバッグ製作		バッグの縫製		
	11	6月19日	↓				
	12	6月26日					
	13	7月3日	前期試験（実技・筆記）		習得度の確認		
	14	7月10日	トートバッグ製作		提出		
講師区分	常勤	講師名	荒井 光	関係実務 経験	専門学校での造形科目の教員職経験。東京都専修 学校教員認定証取得。		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習		後期Ⅰ	22	27.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義20％／実習80％			なし		
科目概要	縫製技術や装飾技術の基礎的な知識を習得する。						
習得項目	1. スタイリストとして現場に必要な縫製の知識と簡単な装飾技術を学ぶ 2. 期限を守る意識を身につける 3. リメイク技術を学び、3Rの意識を高める						
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月4日	ビーズとスパングルの基礎		装飾の技法		
	2	9月11日	↓				
	3	9月25日	エプロン製作		デザイン		
	4	10月2日			パターン作成		
	5	10月16日			裁断		
	6	10月23日					
	7	10月30日					
	8	11月6日	↓		提出		
	9	11月13日	修了製作リメイク作品 （ファッションショー衣装）		テーマ・デザイン		
	10	11月20日			リメイク縫製		
	11	11月27日	↓				
講師区分	常勤	講師名	荒井 光		関係実務 経験	専門学校での造形科目の教員職経験。東京都専修 学校教員認定証取得。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習		後期Ⅱ	20	25	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義20％／実習80％			なし		
科目概要	縫製技術や装飾技術の基礎的な知識を習得する。						
習得項目	1. スタイリストとして現場に必要な縫製の知識と簡単な装飾技術を学ぶ 2. 期限を守る意識を身につける 3. リメイク技術を学び、3Rの意識を高める						
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月4日	修了製作リメイク作品 （ファッションショー衣装）		リメイク縫製		
	2	12月11日					
	3	12月18日					
	4	12月25日					
	5	1月15日					
	6	1月22日					
	7	1月29日					
	8	2月5日	まとめ		提出		
	9	2月19日	ショー期間				
	10	2月26日	ショー期間				
講師区分	常勤	講師名	荒井 光		関係実務 経験	専門学校での造形科目の教員職経験。東京都専修 学校教員認定証取得。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザイン&スタイル画		前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実習実技100%			なし		
科目概要	表現力、想像力の育成。 人物描写を基本とした描画表現力（スタイル画）を身につけます。						
習得項目	1. ドローイングスタイル画テクニック 2. 各種画材、手法への理解と知識。						
評価方法	1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月11日	雑誌模写 「切り抜き探し・トレース」		「描く」「用具の使い方」		
		4月18日	雑誌模写 「トレース」		〃		
		4月25日	雑誌模写 「着彩用具説明・着彩テクニック」		〃		
		5月9日	雑誌模写 「着彩」		〃		
		5月16日	雑誌模写 「着彩」		〃		
		5月23日	人物クロッキー会 「ドローイングテクニック・人物全身構図」		基本ドローイングを知る		
	2	5月30日	スタイル画 「ドローイング・単色人物ヌード全身構図」		8頭身人物描画を身につける		
		6月6日	スタイル画 「マーカー着彩・着装」		画材（マーカー）の使い方		
		6月13日	スタイル画提出課題 「ライフスタイル別コーディネート①」		応用実習		
		6月20日	スタイル画提出課題 「ライフスタイル別コーディネート①」		〃		
	3	6月27日	iPadスタイル画 「iPad描画」		タブレット上での ドローイング		
		7月5日	iPadスタイル画提出課題 「ライフスタイル別コーディネート②」		〃		
		7月12日	iPadスタイル画提出課題 「ライフスタイル別コーディネート②」		〃		
		7月19日					
講師区分	常勤	講師名	石川 和男	関係実務 経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザイン&スタイル画		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実習実技100%			なし		
科目概要	色彩構成や平面アートの作成を通して、表現力や感性を磨く。 スタイリングやデザインについての造詣へ深めながら表現力と想像力やデザイン構成力の育成。						
習得項目	1. 視覚デザイン表現テクニック 2. ファッション・デザインへの造詣教科。用具、表現素材、手法への理解と知識。						
評価方法	1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月5日	イメージの視覚伝達① 「モチーフ平面構成」		基礎デザインテクニック （構図・配置・配色バランス）		
		9月12日	イメージの視覚伝達① 「モチーフ平面構成」		〃		
		9月19日	イメージの視覚伝達① 「モチーフ平面構成」		〃		
		9月26日	イメージの視覚伝達② 「デザイン平面構成/音を色彩構成」		基礎デザインテクニック （イメージのデザイン化 視覚化表現演習）		
		10月3日	イメージの視覚伝達② 「デザイン平面構成/音を色彩構成」		〃		
		10月10日	イメージの視覚伝達② 「デザイン平面構成/音を色彩構成」		〃		
	2	10月17日	デザインオマージュ 「コラージュアート製作（モチーフリサーチ）」		表現の応用発展 （キュレーション）		
		10月24日	デザインオマージュ 「コラージュアート製作」（素材集め）		〃		
		10月31日	デザインオマージュ 「コラージュアート製作」		〃		
		11月7日	デザインオマージュ 「コラージュアート製作」		〃		
	3	11月14日	ファッションデザイン 「自分の好きなスタイル系統について、文章とイラストで表現しなさい」		応用表現		
		11月21日	ファッションデザイン 課題製作		〃		
		11月28日	ファッションデザイン 課題製作		〃		

講師区分	常勤	講師名	石川 和男	関係実務 経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験を持ち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。
------	----	-----	-------	------------	---

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ヘアメイク		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義20% 実習80%			なし		
科目概要	ヘアスタイリング用のウィッグを使い、ヘア道具の扱い方やヘアスタイリングの方法を学ぶ ヘアスタイルとファッションの関係性、ファッションに合わせたヘアスタイルの考え方を学ぶ						
習得項目	ヘアスタイリングの基本テクニックと基本テクニックを活かした応用テクニック						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「実技試験」90ポイント「コンセプトシート」10ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月5日	オリエンテーション ヘア美容用語解説、ヘア用具の説明、ウィッグを使った三つ編み		道具の名前、使い方 三つ編み		
	2	12月12日	編み込み表編み、裏編み（ブラッシング、ブロッキング、コーミング含む）		編み込み2種類		
	3	12月19日	アイロン巻・カチューシャ編み込み フォワード巻き、リバーズ巻き		ヘアアイロンの 基本テクニック		
	4	12月26日	ポニーテールゴムの結び方、色々な位置のポニーテールについて、毛先のホットカーラー巻き		ポニーテールのテク ニック		
	5	1月16日	お団子ピンニング/シニヨン（お団子ヘア）、毛先の逆毛テクニック		お団子ヘアのテクニッ ク		
	6	1月23日	トレンドのヘアアレンジテクニック くるりんぱ、玉ねぎ、編みおろし		トレンドのヘアスタイル		
	7	1月30日	アレンジヘアウォーターフォール、リボン、お花ストレートアイロンをつかったヘアスタイル		アレンジスタイルのテク ニックストレートアイロンの テクニック		
	8	2月6日	期末テスト：カワイイ/カッコイイ テーマを選び制限時間内にヘアデザインを作り上げる		テスト		
	9	2月13日	相モデルでヘアメイクをする		人にヘアメイクをする		
	10	2月20日	ファッションショー期間				
		2月27日	ファッションショー期間				
講師区分	非常勤	講師名	名取瞳、かすみきりこ 藤井奈穂、白鳥みやこ	関係実務 経験	ヘアメイクアーティストとして多数の広告や映像作品に携わる実績を持ち、技術の指導にあたる。		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習 I			前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		演習50%・実技40%・講義10%			なし		
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）PowerPointの技術取得							
習得項目	デジタル基礎知識 Illustrator初～中級操作習得							
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標	他授業連携	
	1	4月11日	授業内容説明・デジタル基礎知識			授業概要の理解		
	2	4月18日	ソフトウェアについて 基本操作説明			授業概要の理解		
	3	4月25日	Illustrator （図形描画・文字・カラー設定）			アプリの理解		
	4	5月9日	Illustrator （ペンツール・パスファインダー）			ペンツール操作練習		
	5	5月16日	Illustrator （クリッピングマスク）			ペンツール機能の理解		
		5月23日	↓					
	6	5月30日	Illustrator （図形描画・パターン作成）			図形のアレンジ		
		6月6日	↓					
	7	6月13日	Illustrator （画像のリンク/自己紹介シート作成）			画像リンクの仕組み理解		
		6月20日	↓					
	8	6月27日	Photoshop／テスト勉強 （ドットイラスト作成）			アプリの概要理解		
	9	7月4日	期末テスト／Photoshop （基本ツール説明・画像加工）			前期おさらい アプリの概要理解		
	10	7月11日	Illustrator （アパレルブランドポスター作成）			画像リンクの仕組み理解		
		7月18日	↓					
講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子		関係実務 経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験 後、 美術学校にて講師経験もあり		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	演習50%・実技40%・講義10%			なし		
科目概要	Mac/パソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop） PowerPointの技術取得						
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得						
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月5日	Photoshop （基本ツール説明・画像明度調整）		前期おさらい		
	2	9月12日	Illustrator・Photoshop （雑誌のページ作成）		アプリの連動		
		9月19日					
		9月26日					
		10月3日					
	3	10月10日	Illustrator （アバターの作成）		ペンツール操作練習 パスファインダー応用		
		10月17日					
	4	10月24日	Photoshop・iPad （手描きイラストでのパターン作成）		MacとiPadの連動		
		10月31日					
		11月7日					
	5	11月14日	Illustrator・PowerPoint （ファッション小物プレゼンテーション）		情報の整理整頓		
		11月21日					
		11月28日					
講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子		関係実務 経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験 後、 美術学校にて講師経験もあり	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	演習50%・実技40%・講義10%			なし		
科目概要	Mac/パソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop） PowerPointの技術取得						
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得						
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月5日	Illustrator （商品カタログページ作成）		情報の整理整頓		
		12月12日					
		12月19日					
			↓				
	2	12月26日	Photoshop （画像加工演習）		画像加工技術の取得		
	3	1月16日	Illustrator・Photoshop （オリジナルBooklet作成）		情報の整理整頓		
	4	1月23日	期末テスト／Illustrator （Booklet作成）		後期まとめ		
		1月30日	Illustrator・Photoshop （オリジナルBooklet作成）		情報の整理整頓		
		2月6日					
		2月13日					
			↓				
		2月20日	ファッションショー準備期間				
		2月27日	ファッションショー片付け				
講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子		関係実務 経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験 後、 美術学校にて講師経験もあり	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリングコーディネート実習		前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実技70% 実習20% 講義10%			なし		
科目概要	スタイリストアシスタントとしての最低限の知識を身につける。						
習得項目	実践的な内容を取り入れ、実際の仕事を身近に感じてもらう。また、プレゼンテーションを繰り返し行い、プレゼン能力・コミュニケーション能力・発想力を育てる。						
評価方法	出席率・提出物・プレゼンのクオリティ、また授業時の発言等で総合的に評価する。						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月12日	自己紹介、コーディネートプレゼン、授業内容説明（吉原）		プレゼン能力、臨機応変な対応の練習		
	2	4月19日	自己紹介・授業内容の説明・底張り練習（説明）（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術		
	3	4月26日	底張り練習1（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術		
	4	5月10日	イメージマップ作成（吉原）		自分の好き・得意なことを形にする		
	5	5月17日	スタイリストアシスタントの仕事内容（講義）（吉原）		アシスタントに必要な最低限の知識		
	6	5月24日	ネクタイ説明&練習・スタイリングブック(ネクタイ)（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術、知識		
	7	5月31日	トルソーの着せ方・置き撮り、吊るしの仕方&写真の撮り方（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術		
	8	6月7日	アイロン練習（吉原）		アイロン台を使用したアイロン掛け技術の習得		
	9	6月14日	地図（講義）（吉原）		主要な道やスタジオの場所を覚える		
	10	6月21日	ネクタイミニテスト・サイズ(採寸)・靴紐の結び方（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術、知識		
	11	6月28日	底張りミニテスト・底張り練習2（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術		
	12	7月5日	スタジオ探索（校外授業）（吉原）		道やスタジオの場所を、訪問して覚える		
	13	7月12日	ネクタイミニテスト・ネクタイ・チーフ差し方説明&練習（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術、知識		
講師区分	非常勤	講師名	持田洋輔／吉原菜々子	関係実務経験	本校卒業後、スタイリストアシスタントを経てスタイリストとして活動中。実務者の視点から作品としてのスタイリングを指導する。		

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリングコーディネート実習		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実技70% 実習20% 講義10%			なし		
科目概要	スタイリストアシスタントとしての最低限の知識を身につける。						
習得項目	実践的な内容を取り入れ、実際の仕事を身近に感じてもらう。また、プレゼンテーションを繰り返し行い、プレゼン能力・コミュニケーション能力・発想力を育てる。						
評価方法	出席率・提出物・プレゼンのクオリティ、また授業時の発言等で総合的に評価する。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	14	9月6日	夏休みの課題プレゼン（吉原）・底張り・ネクタイ		プレゼン能力を身につける・前期の実技復習		
	15	9月13日	ブランドリサーチ（兼PowerPoint練習）（吉原）		ブランド知識を身につける		
	16	9月20日	ネクタイミニテスト/スタイリングブック（ジャケット）（持田）		アイテムやディテールの知識を身につける		
	17	9月27日	底張りミニテスト/スタイリングブック（シャツ&ブラウス）（持田）		アイテムやディテールの知識を身につける		
	18	10月4日	ブランドリサーチ（兼PowerPoint練習）2（吉原）		ブランド知識を身につける		
	19	10月11日	ブランドリサーチプレゼン（吉原）		プレゼン能力を身につける		
	20	10月18日	ネクタイミニテスト/スタイリングブック（靴）（持田）		アイテムやディテールの知識を身につける		
	21	10月25日	作品撮りの企画（持田）		発想力を鍛える		
	22	11月1日	スタイリングブック（ジャンパー、ベスト、コート）（吉原）		アイテムやディテールの知識を身につける		
	23	11月8日	アイロン練習（吉原）		アイロン台を使用したアイロン掛け技術の習得		
	24	11月15日	スタイリングブック（デニム、眼鏡、時計）（吉原）		アイテムやディテールの知識を身につける		
	25	11月22日	作品撮り（持田）		スタイリストアシスタントの為の技術習得		
	26	11月29日	作品撮りのプレゼン・スタイリングブック（靴）（持田）		プレゼン能力を身につける		
講師区分	非常勤	講師名	持田洋輔／吉原菜々子		関係実務経験	本校卒業後、スタイリストアシスタントを経てスタイリストとして活動中。実務者の視点から作品としてのスタイリングを指導する。	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
スタイリングコーディネート実習		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修	実技70% 実習20% 講義10%			なし			
科目概要	スタイリストアシスタントとしての最低限の知識を身につける。							
習得項目	実践的な内容を取り入れ、実際の仕事を身近に感じてもらう。また、プレゼンテーションを繰り返し行い、プレゼン能力・コミュニケーション能力・発想力を育てる。							
評価方法	出席率・提出物・プレゼンのクオリティ、また授業時の発言等で総合的に評価する。							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携		
	27	12月6日	底張り、ネクタイ練習（吉原）		アシスタントとして必要な技術を身につける			
	28	12月13日	スチーマー練習（吉原）		異素材のスチーマー掛け技術の習得			
	29	12月20日	テスト予習（持田）		1年間の総復習			
	30	1月10日	現場体験（吉原）		実際の撮影現場を体験し、研修での即戦力を身につける			
	31	1月17日	実技総復習（吉原）		1年間で学んだ実技のおさらい、現場技術を身につける			
	32	1月24日	テスト(持田)		1年間の総復習			
	33	1月31日	テスト解説・総復習（持田）		1年間の総復習			
	34	2月7日	現場体験プレゼン、総括（吉原）		現場での不得意な点を見つけ改善する1年間の振り返り			
	35	2月14日	ファッションショー期間					
		2月21日	ファッションショー期間					
		2月28日	ファッションショー期間					
	講師区分	非常勤	講師名	持田洋輔／吉原菜々子		関係実務経験	本校卒業後、スタイリストアシスタントを経てスタイリストとして活動中。実務者の視点から作品としてのスタイリングを指導する。	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリスト実習		前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義40% 実習60%			なし		
科目概要	スタイリスト及び、スタイリストアシスタント業務の知識、実務、現場対応力の取得。						
習得項目	1. アイロン、スチーマーの技術 2. 裾上げ、ウエスト詰めなど手縫いの技術 3. 撮影、スタイリスト業務に関わる作業、マナー 4. 服飾アイテムの名称や知識						
評価方法	授業点・・出席率、授業態度は各項目10点を持ち点として減点方式で評価。授業点、筆記、実技テスト、課題のトータル平均点を出し評価。						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月12日	オリエンテーション、自己紹介（中野）		年間の流れ		
	2	4月19日	研修、スタイリストポーチ説明(松田)		研修、仕事道具の知識		
	3	4月26日	メールマナー、styの仕事の流れ(中野)		マナー、仕事内容の理解		
	4	5月10日	アイロンの使い方、表示、練習(保坂)		アイロン 基礎		
	5	5月17日	styの仕事の流れ（中野）		仕事内容の理解		
	6	5月24日	NG素材説明、スチーマー使い方、練習(松田)		スチーマー 基礎		
	7	5月31日	リース返却の仕方、リース伝票略称（中野）		リース返却のしくみの理解		
	8	6月7日	裾上げ、スチーマー練習(保坂)		手縫い、スチーマー 実践		
	9	6月14日	タグ管理、付け方、アクセ名称（中野）		タグ管理実践 名称の知識		
	10	6月21日	異素材スチーマー練習(松田)		スチーマー 実践		
	11	6月28日	前期筆記テスト（中野）		習得度の確認		
	12	7月5日	前期 実技スチーマーテスト（松田）		習得度の確認		
	13	7月12日	撮影現場での動き方、物撮り（中野）		研修での動き方 実践		
	14	7月19日	前期ショーリハ				
講師区分	非常勤	講師名	中野みずき、松田亜侑 美 保坂みなみ	関係実務 経験	本校卒業後、スタイリストアシスタントを経て、スタイリストとして活動中。 実務者の視点からアシスタント時に必要な技術や仕事の仕方を指導する。		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリスト実習		後期Ⅰ	13	32.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義40% 実習60%			なし		
科目概要	スタイリスト及び、スタイリストアシスタント業務の知識、実務、現場対応力の取得。						
習得項目	1. アイロン、スチーマーの技術 2. 裾上げ、ウエスト詰めなど手縫いの技術 3. 撮影、スタイリスト業務に関わる作業、マナー 4. 服飾アイテムの名称や知識						
評価方法	授業点・・出席率、授業態度は各項目10点を持ち点として減点方式で評価。授業点、筆記、実技テスト、課題のトータル平均点を出し評価。						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	15	9月6日	スチーマー復習、裾上げ(松田)		手縫い、スチーマー 実践		
	16	9月13日	前期復習、シミ抜き(中野)		シミ抜き 実践		
	17	9月20日	裾上げ(着用時, 安ピン, テープ)(保坂)		手縫い、サイジング 実践		
	18	9月27日	柄、シャツブラウスの名称（中野）		柄、シャツの知識	商品知識	
	19	10月4日	ウエスト詰め方、留め方(松田)		手縫い、サイジング 基礎		
	20	10月11日	浴衣の着付け、畳み方(中野)		和装の扱い方		
	21	10月18日	異素材スチーマー練習(保坂)		スチーマー 実践		
	22	10月25日	ニット、柄の名称（中野）		ニットの知識	商品知識	
	23	11月1日	fitting練習、着用時の裁縫(松田)		手縫い、サイジング 実践		
	24	11月8日	スカートの名称（中野）		スカートの知識	商品知識	
	25	11月15日	手縫い、異素材スチーマー(保坂)		手縫い、スチーマー基礎		
	26	11月22日	パンツの名称（中野）		パンツの知識	商品知識	
	27	11月29日	研修内容ヒアリング、苦手分野練習(松田)		手縫い、スチーマー基礎		
講師区分	非常勤	講師名	中野みずき、松田亜侑 美 保坂みなみ	関係実務 経験	本校卒業後、スタイリストアシスタントを経て、 スタイリストとして活動中。 実務者の視点からアシスタント時に必要な技術や 仕事の仕方を指導する。		

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
スタイリスト実習		後期Ⅱ	13	27.5	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修	講義40% 実習60%			なし			
科目概要	スタイリスト及び、スタイリストアシスタント業務の知識、実務、現場対応力の取得。							
習得項目	1. アイロン、スチーマーの技術 2. 裾上げ、ウエスト詰めなど手縫いの技術 3. 撮影、スタイリスト業務に関わる作業、マナー 4. 服飾アイテムの名称や知識							
評価方法	授業点・・出席率、授業態度は各項目10点を持ち点として減点方式で評価。授業点、筆記、実技テスト、課題のトータル平均点を出し評価。							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携		
	28	12月6日	雑貨の素材、パンプスサンダルの名称(中野)		小物の素材、靴の知識	商品知識		
	29	12月13日	アイロン、現場で使える裁縫技術(保坂)		アイロン、手縫いの基礎			
	30	12月20日	ブーツの名称(中野)		靴の知識	商品知識		
	31	1月10日	異素材スチーマー(松田)		スチーマーの基礎			
	32	1月17日	後期 筆記テスト（中野）		習得度の確認			
	33	1月24日	後期 実技スチーマーテスト（松田）		習得度の確認			
	34	1月31日	1年のまとめ(中野)					
	35	2月7日	1年間の実技の復習(保坂)					
	36	2月14日	ファッションショー期間					
		2月21日	ファッションショー期間					
		2月28日	ファッションショー片づけ日					
	講師区分	非常勤	講師名	中野みずき、松田亜侑美 保坂みなみ	関係実務経験	本校卒業後、スタイリストアシスタントを経て、スタイリストとして活動中。実務者の視点からアシスタント時に必要な技術や仕事の仕方を指導する。		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
服飾史			前期	28	35	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		オンライン講義100%			なし			
科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。								
習得項目	知識として素材、構造を考える。下着など 賞品のデザインなど理解、説明に役立てる。								
評価方法	レポート、課題の提出。 平常点 以上の平均点								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	1	4月13日	衣服の起源			洋服とは			
	2	4月20日	衣服の形 素材			↓			
	3	4月27日	古代エジプト、メソポタミア			布を巻く			
	4	5月11日	古代ギリシャ、ローマ			大きな布			
	5	5月18日	ビザンチン、ロマネスク			袖			
	6	5月25日	ゴシック、ルネサンス			上衣下衣			
	7	6月1日	バロック、ロココ			コルセット、パニエ			
	8	6月8日	フランス革命、ナポレオン			古代風			
	9	6月15日	近代、市民革命			産業革命			
	10	6月22日	世紀末			下着			
	11	6月29日	20世紀			女性の社会寝室			
	12	7月6日	アールヌーボー、アール・デコ			現在服へ			
	13	7月13日	1930年代			新しい素材			
	14	7月20日	戦記ショーリハ						
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務 経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家			

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ファッション素材学			後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		オンライン講義100%			なし			
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、記事の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦著								
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。								
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	1	9月7日	アパレル素材とは 1			衣服と素材			
	2	9月14日	アパレル素材とは 2			↓			
	3	9月21日	繊維の分類 名称 天然繊維			繊維を知る			
	4	9月28日	繊維の分類、名称、化学繊維			↓			
	5	10月5日	糸について			糸の構造			
	6	10月12日	織物の三原組織			織物の構造			
	7	10月19日	基本的な柄の名前			布の名前			
	8	10月26日	秋冬の布 素材の扱い			↓			
	9	11月2日	編み物について			編み物の構造			
	10	11月9日	裏地、芯地について			副資材			
	11	11月16日	加工について			↓			
	12	11月30日	デニムとジーンズ			身近な素材			
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家			

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ファッション素材学			後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		オンライン講義100%			なし			
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、記事の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦著								
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。								
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	13	12月7日	レースについて			織物、編み物以外の素材			
	14	12月14日	皮と毛皮			↓			
	15	12月21日	不織布とフェルト			↓			
	16	1月11日	染色とプリント			色を付ける			
	17	1月18日	繊維の見分け方			扱い方			
	18	1月25日	新しい素材			素材の意味			
	19	2月1日	スポーツウェア			ハイテク素材			
	20	2月8日	新しい素材			新時代			
	21	2月15日	ファッションショー期間						
		2月22日	ファッションショー期間						
		2月29日	ファッションショー期間						
	講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務 経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
カメラワーク		前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義50%/実習50%			なし		
科目概要	写真の基礎知識、理解を深めて、ファッションと写真の関わり方を学ぶ。 デジタルカメラの基本操作や基本技術を学び、感性や表現力の向上につなげていく。						
習得項目	1. 写真の基礎知識の習得 2. デジタルカメラの使用方法的習得						
評価方法	授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題評価100点、定期試験を100点として平均値を算出し、成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習・補講対象となる。出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月13日	授業オリエンテーション		授業内容への理解		
	2	4月20日	写真の基礎知識 (絞り・シャッタースピード・ISO・構図アングル カラーバランス)		基礎知識		
	3	4月27日	一眼レフの取り扱い方法 (学生同士で撮影・データについて)		基礎知識・基本操作		
	4	5月11日	学内でスタイリング写真撮影 (全身・上半身・座り・寄りなど)		構図アングルの応用		
	5	5月18日	屋外ロケ撮影		屋内撮影との違い		
	6	5月25日	テーマに合わせたグループ撮影 (企画書作成～撮影)		企画力やチームワーク		
	7	6月1日	スポーツイベント				
	8	6月8日	カメラモード撮影 (スポーツ・夜景・風景など)		操作応用		
	9	6月15日	ブツ撮りについてのレクチャー (アパレルアイテム・バッグの中身・その他商品など)		構図アングルの応用		
	10	6月22日	ブツ撮りについてのレクチャー② (アパレルアイテム・バッグの中身・その他商品など)		構図アングルの応用		
	11	6月29日	テストに向けた企画書作成・提出		基礎・応用		
	12	7月6日	筆記テスト		基礎知識・基本操作		
	13	7月13日	撮影実技テスト・講評・まとめ		基礎知識・基本操作		
	14	7月20日	前期ショーリハーサル				
講師区分	常勤	講師名	飯田 紗綾	関係実務 経験	—		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク		後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実技90％／講義10％			なし		
科目概要	Windows/パソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方の習得。 基本的なタイピングからWordを使ったプレスリリースの作成技術を身に付け、 Excelを使って表やグラフを作成し、文章と組み合わせたレポートの作成までを習得する。						
習得項目	1.Windows/パソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文章作成を行えるようにする。 3.Excelを使った表やグラフの作成、関数を使った表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使ったプレゼンテーションデータを作成する。						
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月7日	Windowsの基本操作とタイピングの練習		Windowsの基本操作		
	2	9月14日	Wordを使ったビジネス文書作成 ビジネスメール文章の作成		キーボードを使った文字入力の基本		
	3	9月21日	Wordを使った表や画像入り ビジネス文書の作成		表や画像を使った詳細な文書の作成		
	4	9月28日	Wordを使ったフライヤーの作成		画像の重なり処理と印刷の設定		
	5	10月5日	Excelを使った基本的な表の作成		セルへの入力と罫線・色塗り		
	6	10月12日	Excelを使った四則計算入りの請求書作成		四則計算入りの表の作成		
	7	10月19日	Excelを使ったsumやaverageなど関数を使った表の作成		関数を使った表の基本		
	8	10月26日	Excelを使った円グラフや棒グラフの作成		円グラフと棒グラフの作成		
	9	11月2日	Excelを使った折れ線グラフの作成と、グラフ入り文書の作成		折れ線グラフの作成とExcelでのレポート制作		
	10	11月9日	授業内容の復習		習得状況の確認		
	11	11月16日	実技テスト Word・Excel				
	12	11月30日	Powerpointを使ったプレゼンデータ作成		ページの作成 文字や画像の配置		
講師区分	常勤	講師名	福嶋 哲平		関係実務経験	IT系出版社での編集者、およびフリーランスの編集者／ライターの実務経験者であり、ツールの使い方指導を行う。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実技90％／講義10％			なし		
科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Excel・Powerpoint）の習得。 後期Ⅱに行った基礎を踏まえて、より実践的・応用的な使い方を習得する。 Powerpointを使って効果的なプレゼンテーションを行うことの習得を目指す。						
習得項目	1. Excelを使った表やグラフの作成、関数を使った収支表の作成方法を身に付ける。 2. Powerpointを使ったプレゼンテーションデータを作成し、プレゼンテーションを行う。 3. Powerpointを使ってリリースなどのpdfデータを作成する。						
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月7日	Powerpointを使ったプレゼンデータ作成		アニメーションや画面切り替えの活用		
	2	12月14日	Powerpointを使ったプレゼンの発表		指定時間での有効なプレゼン発表		
	3	12月21日	Powerpointを使ったプレゼンの発表		指定時間での有効なプレゼン発表		
	4	1月11日	ExcelのRANKやCOUNTIFを使った表データの作成		複数条件の関数		
	5	1月18日	ExcelのCOUNTIFやSUMIFを使った表データの作成		複数の表を組み合わせたデータ作成		
	6	1月25日	ペーパーテスト		Excelの応用習得確認		
	7	2月1日	テスト問題答え合わせ 用途に合わせた画像形式の変更		Excelの応用習得確認		
	8	2月8日	Powerpointを使ったリリース文書作成		Powerpointでのpdfデータ作成		
	9	2月15日	卒業制作ファッションショー制作期間				
	10	2月22日	卒業制作ファッションショー制作期間				
	11	2月29日	卒業制作ファッションショー振替休日				
	講師区分	常勤	講師名	福嶋 哲平	関係実務経験	IT系出版社での編集者、およびフリーランスの編集者／ライターの実務経験者であり、ツールの使い方指導を行う。	

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ファッションスタイル論			前期	28	35	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		講義75%：実技/実習25%			なし			
科目概要	私たちは、なぜ服を着るのですか？流行を追ってしまうのはなぜですか？服が好きってどういうことですか？「カッコイイと思った服を着てテンションが上がる」「ファッションの影響力」これらを知った上で本当の服好きな能動的な学生の育成。								
習得項目	服が好きだという気持ちを核に知識の習得。 服（衣装）ケア・服を大事にするということ。 研修に向けて自信を持たせる。								
評価方法	テストと課題提出を基準に算出（60点未満は補修）								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	1	4月14日	現状把握アンケート、自己紹介			スタイリストってどんなことするの？守秘義務とモラルについて。			
	2	4月21日	服がある人生は幸せだ。服って何、服を知ること。			学生全体の『服』に対する意識向上。			
	3	4月28日	スタイリスト（アシスタント）の1日の仕事の流れ。			卒業生などからのリサーチ資料を元に。			
	4	5月12日	動線？はじめて行く場所で迷わない為のライフハック。			テレビ局や地下駐車場イベント会場などで迷わない為に。			
	5	5月19日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。			
	6	5月26日	『自分を表現』と『相手に提案する』違いを確認。			自分が着るのと相手に着せる違いを体験談とともに展開。			
	7	6月2日	ブランド表記の読み方。			読めそうで読めないあのブランド小テスト有り			
	8	6月9日	ハイブランドとファストファッション。			憧れのあのブランドや日頃お世話になってるブランドの違い。			
	9	6月16日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。			
	10	6月23日	現場バッグの中身とあると便利なモノ。			あると便利なモノを現物を見せつつ説明			
	11	6月30日	交通費精算書、領収書の書き方ともらい方。			領収証＝お金という基本から宛名や但し書き。精算方法。			
	12	7月7日	前期期末テスト						
	13	7月14日	テストの解説と復習/夏休みの課題						
講師区分	非常勤	講師名	佐藤 慶明		関係実務経験	現役スタイリストとして実務にそったカリキュラム、実技の指導を行う。			

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ファッションスタイル論			後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科	1	A	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		講義75%：実技/実習25%			なし			
科目概要	私たちは、なぜ服を着るのですか？流行を追ってしまうのはなぜですか？服が好きってどういうことですか？「カッコイイと思った服を着てテンションが上がる」「ファッションの影響力」これらを知った上で本当の服好きな能動的な学生の育成。								
習得項目	服が好きだという気持ちを核に知識の習得。 服（衣装）ケア・服を大事にすること。 研修に向けて自信を持たせる。								
評価方法	テストと課題提出を基準に算出（60点未満は補修）								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標	他授業連携		
	14	9月1日	アンケートと課題発表			夏休みの課題発表			
	15	9月8日	遠足						
	16	9月15日	洋服の洗濯やメンテナンスのライフハック。			自分でする人もシない人も覚えておくべき洗濯のしかた。			
	17	9月22日	プレゼン発表			学生同士で評価し合えるようにしたいです。			
	18	9月29日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。			
	19	10月6日	アイテム別メンテナンス方法。			防水スプレーの種類から手軽なモノでメンテナンス。			
	20	10月13日	ニット・カットソーのディティール			スタイリングブックと多くの画像資料より。			
	21	10月20日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。			
	22	10月27日	マフラーの巻き方			このアイテムひとつで、コーディネート表情を変える。			
	23	11月10日	一週間コーディネート			決められた点数内での着回し			
	24	11月17日	一週間コーディネート発表			発表			
	25	11月24日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。			
講師区分	非常勤	講師名	佐藤 慶明		関係実務経験	現役スタイリストとして実務にそったカリキュラム、実技の指導を行う。			

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションスタイル論			後期Ⅱ	24	30	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		講義75%：実技/実習25%			なし		
科目概要	私たちは、なぜ服を着るのですか？流行を追ってしまうのはなぜですか？服が好きってどういうことですか？「カッコイイと思った服を着てテンションが上がる」「ファッションの影響力」これらを知った上で本当の服好きな能動的な学生の育成。							
習得項目	服が好きだという気持ちを核に知識の習得。 服（衣装）ケア・服を大事にするということ。 研修に向けて自信を持たせる。							
評価方法	テストと課題提出を基準に算出（60点未満は補修）							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
		12月1日	映画から知る流行とポイント。			コーディネートをする上で学ぶべきポイント。		
		12月8日	新しい靴を買った時にすべきいくつかのこととメンテナンス方法。			買ったばかりの靴はすぐに履かない、事前準備することが大事。		
		12月15日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。		
		12月22日	シャツ・ブラウス、ジャケット・ブレザー			復習とフォローアップ		スタイリングコーディネート実習
		1月12日	Yシャツの畳み方、スーツのしまい方、ハンガーへの掛け方。			服の取り扱いをしっかりと身につける。		
		1月19日	靴・フットウェア			復習とフォローアップ		スタイリングコーディネート実習
		1月26日	全体の復習及び、2年生選択授業の説明			前後する可能性有り		伏見先生
		2月2日	後期期末テスト			1年時の総まとめ		
		2月9日	テストの解説と復習			苦手だったところを強化。		
		2月16日	ファッションショー期間					
		3月1日	ファッションショー期間					
	講師区分	非常勤	講師名	佐藤 慶明		関係実務経験	現役スタイリストとして実務にそったカリキュラム、実技の指導を行う。	

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
業界概論			前期	28	35	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		演習60% 講義40%			なし		
科目概要	スタイリスト業界に関わる業界研究							
習得項目	職業理解、仕組みを知る							
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、その平均値を算出し評価を行う。							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標	他授業連携	
	1	4月14日	授業紹介、自己紹介			プレゼンテーション能力		
	2	4月21日	ファッション誌について			ファッション誌の種類		
		4月28日	課題			↓		
		5月12日	↓			↓		
		5月19日	↓			↓		
		5月26日	発表			↓		
	3	6月2日	ファッション誌スタイリスト			各誌スタイリスト特徴など		
		6月9日	↓			↓		
	4	6月16日	アパレル業界に関して			スタイリストと関わる業界理解		
		6月23日	↓			↓		
		6月30日	↓			↓		
	5	7月7日	テスト					
	6	7月14日	復習					
	7	7月21日	前期修了ショー					
	講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵		関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
商品知識		後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義80%/実習20%			なし		
科目概要	スタイリングブックを使用 アパレル製品の基礎知識を学ぶ						
習得項目	1. レディースを中心とした基本的なアイテム名や主なディテール名など知識を習得						
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
		9月1日	授業内容の説明 オリエンテーション			ファッションスタイル論	
		9月8日	バス遠足（予定）				
	1	9月15日	ジャンパー、コートの名称 主なディテール名学習 アイテムマップの作成		アウター全般基礎知識	ファッションスタイル論	
		9月22日	ジャケット、ブレザーの名称 主なディテール名学習 アイテムマップの作成		アウター全般基礎知識	ファッションスタイル論	
		9月29日	ブラウス&シャツの名称 主なディテール名学習 アイテムマップの作成		スリーブバリエーション含む ブラウス&シャツ基礎知識	ファッションスタイル論	
		10月6日	フットウェアの名称 主なディテール名学習 アイテムマップの作成		フットウェア 全般基礎知識	ファッションスタイル論	
		10月13日	スカートのディテール/シルエット 主なディテール名称学習 アイテムマップの作成		ボトム全般基礎知識	ファッションスタイル論	
		10月20日	運動会（予定）				
		10月27日	ワンピースのディテール/シルエット 主なディテール名称学習 アイテムマップの作成		ワンピース全般基礎知識	ファッションスタイル論	
		11月10日	ネックライン名称・カットソー アイテムマップの作成		ネックライン全般基礎知識	ファッションスタイル論	
		11月17日	後期期末テスト			ファッションスタイル論	
	11月24日	テスト解説/資料最終仕上げ			ファッションスタイル論		
講師区分	常勤	講師名	吉岡 文子		関係実務経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
マスメディア論		後期Ⅱ	11	27.5	スタイリスト科	1	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実技70％／講義30％			なし		
科目概要	ファッション・アパレル業界とマスメディアの関りの歴史について学ぶ。 雑誌をテーマに記事の企画立案から制作、リリースにいたるまでの工程を体験的に習得する。 ファッションメディアの成り立ちからWEBメディアの成立までの歴史を理解する。						
習得項目	ファッション業界におけるマスメディアの役割と重要性を知る。 メディアに対する企画・立案・製作能力を身に付ける。 制作に関わる他のスタッフから、スタイリストに求められる技術や役割を体験的に習得する。						
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月1日	ファッションメディアの歴史とインタビュー実習		ライター業務の理解		
	2	12月8日	雑誌の制作体制と表紙ラフの作成		編集者の業務の理解		
	3	12月15日	メディアにおける広告の役割とキャッチコピー制作		広告関連業務の理解		
	4	12月22日	記事広告（タイアップ広告）とペルソナシートの作成		営業・編集・広告業務の理解		
	5	1月12日	映画や音楽の影響とコーディネート制作		スタイリスト		
	6	1月19日	WEBメディアの台頭とSNSを使ったプロモーション		広報・EC業務の理解		
	7	1月26日	ペーパーテスト		授業内容習得確認		
	8	2月2日	テスト答え合わせグラフィックデザイン制作		グラフィックデザイン業務の理解	Mac演習で習得したスキル活用	
	9	2月9日	マンガを使ったプロモーション広告マンガのネーム作成				
	10	2月16日	卒業制作ファッションショー制作期間				
	11	3月1日	卒業制作ファッションショー振替休日				
講師区分	常勤	講師名	福嶋 哲平		関係実務経験	IT系出版社での編集者、およびフリーランスの編集者／ライターの実務経験者であり、ツールの使い方指導を行う。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
衣装デザイン		前期	56	70	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	実技80%、講義20%			なし		
科目概要	1年次のリメイクをふまえ、オリジナルのデザインの衣服を製作する。 生地を選びカスタマイズ、サイズアレンジなどのデザイン技術を習得する。						
習得項目	帽子、ベレー、バケットハットの製作 オリジナルシャツの製作 基本縫いの習得						
評価方法	平常点50%、提出物50%						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月17日	パンツ裾上げ（解き、まつり）		手まつり作業の強化		
	2	4月24日	帽子ベレー、バケットハット製作		縫製力の強化		
	3	5月15日	帽子ベレー、バケットハット製作 1点～2点提出		↓		
	4	5月22日	シャツ製作、デザイン決定 （素材コットン）		↓		
		5月29日	有りパターンS,M,Lより長袖、半袖 などパターンアレンジ作業		↓		
		6月5日	↓		↓		
		6月12日	↓		↓		
		6月19日	↓		↓		
		6月26日	↓		↓		
		7月3日	↓		↓		
		7月10日	縫製、シャツ提出				
	講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務 経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
衣装デザイン			後期Ⅰ	44	55	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		実技80%、講義20%			なし		
科目概要	1年次のリメイクをふまえ、オリジナルのデザインの衣服を製作する。 生地を選びカスタマイズ、サイズアレンジなどのデザイン技術を習得する。							
習得項目	Gパンパターン製作 Gパン製作 縫いの習得							
評価方法	平常点50%、提出物50%							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
	5	9月4日	全身採寸			採寸の習得する		
	6	9月11日	Gパン製作、デザイン決定			パターンの強化		
	7	9月25日	パターン製作、縫製まで			縫製の強化		
		10月2日	↓			↓		
		10月16日	↓			↓		
		10月23日	↓			↓		
		10月30日	↓			↓		
		11月6日	↓			↓		
		11月13日	↓			↓		
		11月20日	↓			↓		
	8	11月27日	Gパン提出					
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
衣装デザイン			後期Ⅱ	40	50	スタイリスト科	2	A	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		実技80%、講義20%			なし			
科目概要	1年次のリメイクをふまえ、オリジナルのデザインの衣服を製作する。 生地を選びカスタマイズ、サイズアレンジなどのデザイン技術を習得する。								
習得項目	インテリア小物製作-1 インテリア小物製作-2								
評価方法	平常点30%、提出物40%、期末テスト30%								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	9	12月4日	インテリア小物			縫製の強化			
		12月11日	↓			↓			
		12月18日	↓			↓			
		12月25日	↓			↓			
	10	1月15日	期末テスト			↓			
		1月22日	インテリア小物			↓			
		1月29日	↓			↓			
	11	2月5日	提出						
	講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリスト実習Ⅱ			前期	56	70	スタイリスト科 （選択スタイリスト）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	選択必修		講義75%：実技/実習15%			なし		
科目概要	◇守秘義務について◇スタイリストアシスタントとしての立ち振舞い（言葉遣い、マナー等）◇スタイリストアシスタントとして即実践につながるスキルの習得（アイロン掛け、まつり縫い等） ◇都内主要地区の地理の把握 ◇洋服に対する知識 → アイテム名やディティールの名称、各国のサイズ表記等の基礎 定番アイテムとそれを扱うブランドの歴史等上記知識定着のための小テストの実施							
習得項目	上記すべて							
評価方法	提出課題の期限と出席日数、学期末のテストの点数から算出							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
	1	4月11日	仕事の流れ、守秘義務、仕事道具紹介、現状把握アンケート			スタイリストが目指したいものかの再確認		
	2	4月18日	地図（大通り、小道、建物・交差点）			都内主要地区の地図への理解を深める		
		4月25日	↓			↓		
	3	5月9日	街歩き（リサーチ）			ルートの組み立てを含むより実践的な地図への理解を深める		
	4	5月16日	アポイント			電話での言葉遣いや相手とのスケジュールのすり合わせ方を実践		
		5月23日	古着屋マップ作成（リサーチ、資料作成）			プレゼンテーション能力と自主性の向上を図る		
		5月30日	↓			↓		
		6月6日	↓			↓		
	5	6月13日	業界用語			現場で実際に使われる用語への理解を深める		
		6月20日	↓			↓		
	6	6月27日	サイズ（各国サイズ表記、靴、体型別、スーツサイズ）			日本のサイズをベースに、伊・仏・英・米様々なサイズ表記習得		
		7月4日	↓			↓		
	7	7月11日	前期総復習（テスト範囲）、ネクタイの結び方orまつり縫い			夏休み中の研修に向けた技術の向上		
	8	7月18日	前期テスト					
講師区分	非常勤	講師名	佐藤 慶明		関係実務経験	現役スタイリストとして実務にそったカリキュラム、実技の指導を行う。		

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリスト実習Ⅱ			後期Ⅰ	26	65	スタイリスト科 （選択スタイリスト）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	選択必修		講義75%：実技/実習15%			なし		
科目概要	◇守秘義務について◇スタイリストアシスタントとしての立ち振舞い（言葉遣い、マナー等）◇スタイリストアシスタントとして即実践につながるスキルの習得（アイロン掛け、まつり縫い等） ◇都内主要地区の地理の把握 ◇洋服に対する知識 → アイテム名やディティールの名称、各国のサイズ表記等の基礎 定番アイテムとそれを扱うブランドの歴史等上記知識定着のための小テストの実施							
習得項目	上記すべて							
評価方法	提出課題の期限と出席日数、学期末のテストの点数から算出							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
	9	9月5日	プレゼンテーション			衣裳説明で使える修飾語と話の組み立て方の習得		
		9月12日	↓			↓		
	10	9月19日	スーツ（国別シルエット、ディティール）			TP0やスタイルの特徴を深掘りしていく		
	11	9月26日	定番服			それぞれの服の成り立ちや主要なブランドを覚える		
		10月3日	↓			↓		
	12	10月10日	短靴、ブーツ			（ディティール、靴紐、ケア方法）・靴への理解を深める		
	13	10月17日	海外マナー、豆知識			地方や海外などの出先でも衣裳のトラブルに対応できる知識の習得		
	14	10月24日	撮影準備、衣裳管理			広海さん深海さん授業で扱う衣裳の管理を通して責任感を養います		
	15	10月31日	業界用語2、略語、テレビ局略称			ファッション業界全体で使われる用語とテレビ局の略称を覚える		
	16	11月7日	地図2（テレビ局、有名スタジオ、前期おさらい）			地図範囲を拡大しテレビ局とスタジオの位置関係を覚える		
	17	11月14日	スニーカー（定番の品名とブランドの歴史、ディテール、ケア方法）			靴への理解を深める		
	18	11月21日	マフラー、ストールの巻き方			巻き方のアレンジを実践しスタイリングの幅を広げる		
	19	11月28日	ビジネスメール、領収証、税金について（ゲスト講師）			社会人としての知識の習得		
講師区分	非常勤	講師名	佐藤 慶明		関係実務経験	現役スタイリストとして実務にそったカリキュラム、実技の指導を行う。		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
スタイリスト実習Ⅱ			後期Ⅱ	22	55	スタイリスト科 （選択スタイリスト）	2	A・B	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	選択必修		講義75%：実技/実習15%			なし			
科目概要	◇守秘義務について◇スタイリストアシスタントとしての立ち振舞い（言葉遣い、マナー等）◇スタイリストアシスタントとして即実践につながるスキルの習得（アイロン掛け、まつり縫い等） ◇都内主要地区の地理の把握 ◇洋服に対する知識 → アイテム名やディティールの名称、各国のサイズ表記等の基礎 定番アイテムとそれを扱うブランドの歴史等上記知識定着のための小テストの実施								
習得項目	上記すべて								
評価方法	提出課題の期限と出席日数、学期末のテストの点数から算出								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	20	12月5日	軍モノ、年代別ファッション			年代による迷彩や軍服の違い、流行の繰り返しを深掘りしていく			
		12月12日	↓			↓			
		12月19日	↓			↓			
		12月26日	↓			↓			
	21	1月16日	後期総復習（テスト範囲）、商品とサンプルの違い、生地の買い方			素材の違いを理解して衣裳の扱いを考える			
		1月23日	↓			↓			
	22	1月30日	後期テスト						
		2月6日	復習						
	23	2月13日	スタアシの心構え、先輩たちの話			アシスタントとして送り出す前に話しておきたいことを伝えます			
	24	2月20日	ファッションショー期間						
		2月27日	ファッションショー期間						
	講師区分	非常勤	講師名	佐藤 慶明		関係実務経験	現役スタイリストとして実務にそったカリキュラム、実技の指導を行う。		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショップ起業実習		前期	28	35	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	選択必修	実習100%			なし		
科目概要	1. ビジネスモデルの考察、起業プランを作成し、内容のスケール感に沿った原資を元に企画からポップアップストアの運営・出店までを体験する。 2. 各自の得意分野を活かし、各自のスキルアップと就職後に向けた意識を高める機会とする。						
習得項目	ファッションビジネス用語、企画、生産技術、販売、接客マナーについての知識と技術の習得。						
評価方法	・ 授業態度 ・ 理解習熟度 ・ 出席率						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月11日	オリエンテーション （役職の説明・決定）		アパレル企業の 役職・流れを理解		
	2	4月18日	ショップ名・コンセプト決定		企画運営について学ぶ		
	3	4月25日	出店先エリアリサーチ・決定				
	4	5月9日	出店店舗候補リサーチ				
	5	5月16日	出店店舗候補プレゼン・候補決定				
	6	5月23日	デザイン考案		商品企画について学ぶ		
	7	5月30日	サンプル製作				
	8	6月6日	SNS運用研修		SNSの運用に ついて学ぶ		
	9	6月13日	プレゼンテーション資料作成 （PowerPoint/Word）		資料作成のスキルを 高める		
	10	6月20日	プレゼンテーション練習・最終確認		プレゼンテーションの スキルを高める		
	11	6月27日	プレゼンテーション				
	12	7月4日	仕入先/仕入数リサーチ・ 出店先予約		企画運営について学ぶ		
	13	7月11日	出店先予約・展示会準備				
	14	7月18日	展示会・仕入先/仕入数決定				
講師区分	常勤	講師名	海老名 ふたば・福永 葵		関係実務 経験	当学園卒業後、販売、衣装製作補助業務経験	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ショップ起業実習		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B	
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	選択必修	実習100%			なし			
科目概要	1. ビジネスモデルの考察、起業プランを作成し、内容のスケール感に沿った原資を元に企画からポップアップストアの運営・出店までを体験する。 2. 各自の得意分野を活かし、各自のスキルアップと就職後に向けた意識を高める機会とする。							
習得項目	ファッションビジネス用語、企画、生産技術、販売、接客マナーについての知識と技術の習得。							
評価方法	・ 授業態度 ・ 理解習熟度 ・ 出席率							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標		他授業連携	
	15	9月5日	MD：予算、作業工程管理 企画：商品企画 プレス：チラシ・ポスターデザイン考案、SNS /ブログ更新		商品仕入れ、生産、 広報活動について学ぶ			
	16	9月12日	MD：各種表作成 企画：商品発注 プレス：チラシ・ポスターデザイン決定、SNS /ブログ更新					
	17	9月19日	MD：各種表作成 企画：商品製作 プレス：チラシ・ポスターデザイン修正、SNS /ブログ更新					
	18	9月26日	MD・企画：商品製作 プレス：商品製作、SNS /ブログ更新					
	19	10月3日	MD・企画：商品製作 プレス：チラシ・ポスター入稿、SNS /ブログ更新					
	20	10月10日	MD：各種表製作 企画：商品製作 プレス：商品製作、SNS /ブログ更新					
	21	10月17日	MD・企画：商品製作 プレス：商品製作、SNS /ブログ更新					
	22	10月24日	MD・企画：商品製作 プレス：商品製作、SNS /ブログ更新					
	23	10月31日	MD・企画：商品製作 プレス：商品製作、SNS /ブログ更新					
	24	11月7日	MD：道路交通使用許可申請 企画：商品製作 プレス：外部へのチラシ配布、SNS /ブログ更新					
	25	11月14日	MD：道路交通使用許可申請 企画：商品製作 プレス：外部へのチラシ配布、SNS /ブログ更新					
	26	11月21日	MD・企画：商品製作 プレス：タグ作成、SNS /ブログ更新					
	27	11月28日	MD・企画：商品製作 プレス：タグ作成、SNS /ブログ更新					
講師区分	常勤	講師名	海老名 ふたば・福永 葵	関係実務 経験	当学園卒業後、販売、衣装製作補助業務経験			

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショップ起業実習		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	選択必修	実習100%			なし		
科目概要	1. ビジネスモデルの考察、起業プランを作成し、内容のスケール感に沿った原資を元に企画からポップアップストアの運営・出店までを体験する。 2. 各自の得意分野を活かし、各自のスキルアップと就職後に向けた意識を高める機会とする。						
習得項目	ファッションビジネス用語、企画、生産技術、販売、接客マナーについての知識と技術の習得。						
評価方法	・ 授業態度 ・ 理解習熟度 ・ 出席率						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	28	12月5日	MD：シフト調整 企画：商品製作 プレス：校内外へのチラシ配布、SNS / ブログ更新		商品仕入れ、生産、 広報活動について学ぶ		
	29	12月12日	MD：シフト調整 企画：商品管理 プレス：商品製作、SNS / ブログ更新		↓		
	30	12月15日～17日	実店舗出店実習		オープンから撤収までの流れ、販売、接客マナーについて学ぶ		
	31	12月19日	実習閉店整理 アウトレットセール準備		・ 経費精算 ・ 収支報告書作成		
	32	12月26日	在庫確認		最終整理		
	33	1月16日	最終売り上げ計算		↓		
	34	1月23日	出店日振替休講				
	35	1月30日	出店日振替休講				
	36	2月6日	ショー週間 1				
	37	2月13日	ショー週間 2				
	38	2月20日	ショー週間 3				
	39	2月27日	ショー撤収作業				
	講師区分	常勤	講師名	海老名 ふたば・福永 葵	関係実務 経験	当学園卒業後、販売、衣装製作補助業務経験	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションビジネス概論		前期	28	35	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	選択必修	講義80%/実習20%			なし		
科目概要	ファッションビジネス能力検定3級取得に向けて、ファッションビジネス知識全般を学ぶ。						
習得項目	1.ファッションビジネス能力検定3級ファッションビジネス全般を習得。 2.ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指す。						
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月11日	授業内容説明・スケジュール確認				
		4月18日	繊維ファッション産業 ファッションビジネスの歩み 今日のFビジネス動向		ファッションビジネスの定義と特性		
		4月25日	小テストと解説		ファッションビジネスの定義と特性		
	2	5月9日	消費者行動 ライフスタイルとファッション 購買行動		ファッション生活と消費		
		5月16日	小テストと解説		ファッション生活と消費		
	3	5月23日	アパレル産業 小売業とSC ネットビジネス		アパレル産業の構造		
		5月30日	小テストと解説		アパレル産業の構造		
	4	6月6日	マーケティングの基礎知識 消費者分類 市場調査の基礎		マーケティング基礎知識		
		6月13日	小テストと解説		マーケティング基礎知識		
	5	6月20日	マーチャンダイジング基礎知識 商品企画から販売の流れ リテール品揃え		MDの基礎知識		
		6月27日	小テストと解説		MDの基礎知識		
		7月4日	前期期末テスト				
	6	7月11日	流通の基礎知識 ショップの仕組みと業務		流通の基礎知識		
		7月18日	小テストと解説		流通の基礎知識		
	講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションビジネス概論		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	選択必修	講義80%/実習20%			なし		
科目概要	ファッションビジネス能力検定3級取得に向けて、ファッションビジネス知識全般を学ぶ。						
習得項目	1.ファッションビジネス能力検定3級ファッションビジネス全般を習得。 2.ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指す。						
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	7	9月5日	ファッション産業の職種採用までの流れ		ファッション業界の職種概要		
		9月12日	小テストと解説		ファッション業界の職種概要		
	8	9月19日	会社に関する基礎知識 係数の基礎知識 IT基礎知識		ビジネス基礎知識		
		9月26日	小テストと解説		ビジネス基礎知識		
	9	10月3日	デザインの定義と特性 衣服とアパレル基礎知識 繊維の基礎知識		ファッション、デザイン アパレル概要		
		10月10日	ファッションスタイリング ディスプレイ基礎知識		ファッション コーディネート		
		10月17日	品質表示の知識 サイズの知識 織物、ニットの知識		ファッション商品知識		
		10月24日	デザイン画と製品図 デザインと機能 色彩基礎知識		ファッションデザイン		
		10月31日	パターン基礎知識 アパレル製造基礎知識		ファッション エンジニアリング知識		
		11月7日	模擬テスト				
		11月14日	後期期末テスト				
		11月21日	ファッション業界スケジュール概要		業界スケジュール		
		11月28日	業界カレンダー作成		業界スケジュール		
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務 経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ファッションビジネス概論		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B	
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	選択必修	講義80%/実習20%			なし			
科目概要	ファッションビジネスにおける実務について理解を深める。							
習得項目	1.ファッション業界、職種の理解 2.職種ごと基礎スキルを習得							
評価方法	各項目に標準点を置き「意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 （成績評価が60点未満の場合は補講の対象）							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携		
	10	12月5日	SDGs基礎知識 エシカル・サステナブル 作る責任・使う責任		SDGs概要			
	11	12月12日	EC概要 さ・さ・げ業務 ECビジネス用語		EC業務基概要			
		12月19日	トップス/ボトムスの採寸について		採寸方法			
		12月26日	服飾雑貨の採寸 商品説明について		服飾雑貨 採寸方法			
	12	1月16日	ショップスタッフの仕事の流れ 接客の心得		ショップスタッフ 仕事内容			
		1月23日	什器とディスプレイ概要		ディスプレイ知識			
		1月30日	販売日報概要 セット率・回転率・前年比計算方法		日報の書き方			
		2月6日	2024年トレンド解説		2024年トレンド知識			
		2月13日	総まとめ					
		2月20日	FS期間					
		2月27日	FS片づけ日					
	講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子	関係実務 経験	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリング実習		前期	28	35	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義30％／実習70％			なし		
科目概要	ストリートスタイルを中心とした近現代のファッション史とその特徴を講義。その知識をもとに、現代にアレンジしたスタイリングの作成演習を行う。スタイリングブックを使ったファッション基礎知識の強化。						
習得項目	英・米・日・仏における近現代ファッション史／各国のストリートスタイルに関する基礎知識／スタイリングの応用力、創意工夫の能力／プレゼン力						
評価方法	スタイリング課題、ペーパーテスト、授業態度による総合評価						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月12日	授業オリエンテーション、自己紹介		習得目標の説明		
	2	4月19日	ジーンズの基礎知識・パンツのディテール		ジーンズの歴史、基礎知識		
		4月26日	ジーンズのスタイリング演習		スタイリング応用力		
		5月10日	ジーンズのスタイリングプレゼン		プレゼン力		
	3	5月17日	アメリカのスタイルⅠ 講義		アメリカのスタイルに関する知識		
		5月24日	アメリカのスタイルⅠ 演習		スタイリング応用力		
		5月31日	アメリカのスタイルⅠ プレゼン		プレゼン力		
	4	6月7日	ファッション小物の基礎知識		小物に関する知識		
	5	6月14日	イギリスのスタイルⅠ 講義		イギリスのスタイルに関する知識		
		6月21日	イギリスのスタイルⅠ 演習		スタイリング応用力		
		6月28日	イギリスのスタイルⅠ プレゼン		プレゼン力		
		7月5日	ペーパーテスト				
	6	7月12日	日本のアパレルメーカー講義		日本のアパレルに関する知識		
		7月19日	前期ショーリハ				
講師区分	非常勤	講師名	石原 輝美		関係実務経験	ファッション雑誌編集、スタイリング、バイイングを行っており、実務に沿った内容で指導を行う。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリング実習		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義30％／実習70％			なし		
科目概要	ストリートスタイルを中心とした近現代のファッション史とその特徴を講義。その知識をもとに、現代にアレンジしたスタイリングの作成演習を行う。スタイリングブックを使ったファッション基礎知識の強化。						
習得項目	英・米・日・仏における近現代ファッション史／各国のストリートスタイルに関する基礎知識／スタイリングの応用力、創意工夫の能力／プレゼン力						
評価方法	スタイリング課題、ペーパーテスト、授業態度による総合評価						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
		9月6日	日本のアパレルメーカー演習		スタイリング応用力		
	7	9月13日	日本のアパレルメーカープレゼン		プレゼン力		
		9月20日	サープラスウエアの基礎知識		サープラスウエアに関する知識		
		9月27日	サープラスウエアのスタイリング演習		スタイリング応用力		
	8	10月4日	サープラスウエアのスタイリングプレゼン		プレゼン力		
		10月11日	アメリカのスタイルⅡ講義		アメリカのスタイルに関する知識Ⅱ		
		10月18日	アメリカのスタイルⅡ演習		スタイリング応用力		
	9	10月25日	アメリカのスタイルⅡプレゼン		プレゼン力		
		11月1日	イギリスのスタイルⅡ講義		イギリスのスタイルに関する知識Ⅱ		
		11月8日	イギリスのスタイルⅡ演習		スタイリング応用力		
	10	11月15日	イギリスのスタイルⅡプレゼン		プレゼン力		
	11	11月22日	ストリートスナップ		ファッションの観察力		
		11月29日	ストリートスナッププレゼン		プレゼン力		
講師区分	非常勤	講師名	石原 輝美		関係実務経験	ファッション雑誌編集、スタイリング、バイイングを行っており、実務に沿った内容で指導を行う。	

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
スタイリング実習			後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		講義30%／実習70%			なし		
科目概要	ストリートスタイルを中心とした近現代のファッション史とその特徴を講義。その知識をもとに、現代にアレンジしたスタイリングの作成演習を行う。スタイリングブックを使ったファッション基礎知識の強化。							
習得項目	英・米・日・仏における近現代ファッション史／各国のストリートスタイルに関する基礎知識／スタイリングの応用力、創意工夫の能力／プレゼン力							
評価方法	スタイリング課題、ペーパーテスト、授業態度による総合評価							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
		12月13日	フランスのスタイル講義			スタイリング応用力		
		12月20日	フランスのスタイルプレゼン			プレゼン力		
	12	1月10日	フォーマルウエア講義			フォーマルウエアに関する知識		
		1月17日	フォーマルウエア演習			スタイリング応用力		
		1月24日	フォーマルウエアプレゼン			プレゼン力		
		1月31日	ペーパーテスト					
	13	2月7日	ファイナルミッション課題			スタイリング応用力		
		2月14日	ファイナルミッションプレゼン			プレゼン力		
	講師区分	非常勤	講師名	石原 輝美		関係実務経験	ファッション雑誌編集、スタイリング、バイイングを行っており、実務に沿った内容で指導を行う。	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
SNSマーケティング		前期	28	35	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義50%実習50%			企業講師（株式会社レイワンダッシュ）		
科目概要	SNSで会社やフリーランスでの仕事に必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。 自分の作成したコンテンツをSNS上に披露する機会を作り、自身と相性の良いターゲット層や運用方法の理解を深める。						
習得項目	・YouTube・Instagram・Twitter・Tik Tok・17LIVEの使い方を習得 ・撮影や動画編集、画像編集から文書作成を行えるようにする ・実際に投稿してアカウントの分析方法も学び、PDCAサイクルを自分で回せるようにする。						
評価方法	授業態度、SNSの実績、各コンテンツのクオリティで採点する。						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月12日	オリエンテーション		各SNSの知識		
	2	4月19日	各SNSアカウントの基礎		開設から設定ができる		
	3	4月26日	撮影や画像、動画編集の基礎		コンテンツが作れる		
	4	5月10日	SNSブランディングについて□		方向性を決めれる		
	5	5月17日	Instagramの基礎と応用		運用と分析ができる		
	6	5月24日	Twitterの基礎と応用		運用と分析ができる		
	7	5月31日	YouTubeの基礎と応用		運用と分析ができる		
	8	6月7日	Tik Tokの基礎と応用		運用と分析ができる		
	9	6月14日	インフルエンサーの キャスティング方法と選び方		キャスティングが できる		
	10	6月21日	グループ別総フォロワー獲得 プラン設計と資料作り		プラン作成と実行が できる		
	11	6月28日	プランと実績結果の発表		プラン作りと運用の 精度を高める		
	12	7月5日	ベンチマークと分析		実用的な運用方法と 分析力を高める		
	13	7月12日	SNSの長期運用計画と実践		長期的な運用方法と 分析力を高める		
	14	7月19日	前期ショーリハ				
講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵		関係実務 経験	—	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
デザインクリエイション		後期Ⅰ	26	32.5	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義20%、実習80%			なし		
科目概要	課題やコンテスト出展を通してオーダーを理解し、クライアントからの要望を的確に捉えるデザインスキルを身につける。						
習得項目	デザインの発案、企画資料制作、トレンド分析力						
評価方法	授業参加、課題提出、プレゼンテーション。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月6日	授業説明/レイアウトの5原則解説		レイアウト知識		
	2	9月13日	ペーパークラフト 課題説明		デザイン発案		
		9月20日	ペーパークラフト 課題 製作		デザイン発案		
		9月27日	ペーパークラフト 課題 製作		デザイン発案		
		10月4日	ペーパークラフト 課題 撮影/提出		画像編集/書き出し		
	3	10月11日	デザインコンテスト出展① 課題説明		デザイン発案		
		10月18日	デザインコンテスト出展① 課題製作		デザイン発案		
		10月25日	デザインコンテスト出展① 課題製作		デザイン発案		
		11月1日	デザインコンテスト出展① 課題製作		デザイン発案		
	4	11月8日	デザインコンテスト出展② 課題説明		テキスタイルの知識		
		11月15日	デザインコンテスト出展② 課題製作		テキスタイルの知識		
		11月22日	デザインコンテスト出展② 課題製作		テキスタイルの知識		
		11月29日	デザインコンテスト出展② 課題製作		テキスタイルの知識		
講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務に必要な事柄を指導する	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
デザインクリエイション		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	2	A	
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修	講義20%、実習80%			なし			
科目概要	課題やコンテスト出展を通してオーダーを理解し、クライアントからの要望を的確に捉えるデザインスキルを身につける。							
習得項目	デザインの発案、企画資料制作、トレンド分析力、デザインソフト(Illustrator、Photoshop)の基本操作							
評価方法	授業参加、課題提出、プレゼンテーション。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携		
	5	12月6日	グリーティングカード 制作課題 説明		レイアウトスキル			
		12月13日	グリーティングカード 制作		レイアウトスキル			
		12月20日	グリーティングカード 制作/提出		レイアウトスキル			
	6	1月10日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 ロゴ制作□		デザインソフト基本操作	ライフスタイル研究		
		1月17日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 ロゴ制作□		↓	ライフスタイル研究		
		1月24日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 フライヤー制作□		↓	ライフスタイル研究		
		1月31日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 フライヤー制作□		↓	ライフスタイル研究		
		2月7日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 フライヤー制作/提出□		↓	ライフスタイル研究		
	7	2月14日	ショー週間					
		2月21日	ショー週間					
		2月28日	ショー週間					
	講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務に必要な事柄を指導する	

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
研修/キャリアデザイン		前期	28	35	スタイリスト科 （選択スタイリスト）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	演習80% 講義20%			なし		
科目概要	就職に向けたスタイリスト、企業研究						
習得項目	スタイリストアシスタントを目指す上での職業理解、スタイリストリサーチ、履歴書準備などの就職活動/アシスタント先を選定し卒業前に内定を目指す。また社会人において必要なマナーを習得する。						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、その平均値を算出し評価を行う。						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月13日	授業説明、アンケート		希望就職先選定		
	2	4月20日	自己分析、他己分析		自己理解		
	3	4月27日	スタイリストリサーチ		就職先について知識を得る		
		5月11日	↓		↓		
		5月18日	↓		↓		
		5月25日	↓		↓		
	4	6月1日	スポーツイベント				
	5	6月8日	研修の経験アピールリスト作成		自己アピール		
		6月15日	↓		↓		
	6	6月22日	特別講義		スタイリストが求めている事を知る	外部スタイリスト	
	7	6月29日	履歴書作成		スタイリストさんのスタイリングを分析し取り入れ自分を表現する		
		7月6日	↓		↓		
		7月13日	↓		↓		
	8	7月20日	前期ショーリハーサル				
講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵	関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
研修/キャリアデザイン			後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科 （選択スタイリスト）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		演習80% 講義20%			なし		
科目概要	就職に向けたスタイリスト、企業研究							
習得項目	スタイリストアシスタントを目指す上での職業理解、スタイリストリサーチ、履歴書準備などの就職活動/アシスタント先を選定し卒業前に内定を目指す。また社会人において必要なマナーを習得する。							
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、「テスト」その平均値を算出し評価を行う。							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標	他授業連携	
	9	9月7日	就活プラン作成、修正、			就職先決定		
	10	9月14日	ビジネスマナーの習得（基本マナー、敬語）			基本マナー、敬語		
	11	9月21日	ビジネスマナーの習得（電話）			電話マナー		
	12	9月28日	ビジネスマナーの習得（メール）			メールマナー		
	13	10月5日	ビジネスマナーの習得（挨拶）			挨拶のマナー		
	14	10月12日	ビジネスマナーの習得（コミュニケーション）			コミュニケーション力		
	15	10月19日	特別講義			スタイリストを決めるアドバイス	外部スタイリストアシスタント	
	16	10月26日	ビジネスマナーの習得（クッション言葉）			クッション言葉マナー		
	17	11月2日	ビジネスマナーの習得（席次）			席次マナー		
	18	11月9日	履歴書			履歴書見直し		
	19	11月30日	復習					
	講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵		関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する	

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
研修/キャリアデザイン			前期	28	35	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		講義20%、実習80%			なし		
科目概要	就職に向けた活動、企業研究							
習得項目	業界の動向、就職活動の全体のスケジュール、求められる人物像を分析しながら、仕事や就職活動に対する理解とモチベーションを高め内定を目指す。また社会人において必要なマナーを習得する。							
評価方法	授業参加、課題提出、筆記テスト。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・期末テスト結果・授業態度							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標	他授業連携	
	1	4月13日	授業説明/就職活動に関するアンケート実施□			スケジュール管理		
	2	4月20日	就職活動（新卒向け求人サイト登録）、ビジネスメール□			ビジネスメール		
	3	4月27日	就職活動、履歴書作成□			ライティングスキル		
	4	5月11日	店舗リサーチ（就職希望先）			リサーチ、レポートスキル		
	5	5月18日	ビジネスマナーの習得（基本マナー、敬語）			ビジネスマナー		
	6	5月25日	ビジネスマナーの習得（電話、コミュニケーション）			ビジネスマナー		
	7	6月1日	一般常識 過去問題			一般常識向上		
	8	6月8日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	9	6月15日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	10	6月22日	テスト範囲説明			ビジネスマナー		
	11	6月29日	就職活動状況確認			スケジュール管理		
	12	7月6日	前期 テスト実施			ビジネスマナー		
	13	7月13日	前期 テスト 解答/解説			ビジネスマナー		
	14	7月20日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
研修/キャリアデザイン			後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		講義20%、実習80%			なし		
科目概要	就職に向けた活動、企業研究							
習得項目	業界の動向、就職活動の全体のスケジュール、求められる人物像を分析しながら、仕事や就職活動に対する理解とモチベーションを高め内定を目指す。また社会人において必要なマナーを習得する。							
評価方法	授業参加、課題提出、筆記テスト。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度							
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題			習得目標	他授業連携	
	1	9月7日	就活プラン作成、修正、研修一覧作成□			スケジュール管理		
	2	9月14日	給料明細の見方、納税について			納税への理解		
	3	9月21日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	4	9月28日	二次募集求人確認			スケジュール管理□		
	5	10月5日	社会人2年目からの給料明細			納税への理解		
	6	10月12日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	7	10月19日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	8	10月26日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	9	11月2日	就職活動状況確認/個人面談			スケジュール管理		
	10	11月9日	インターン状況確認/活動状況確認			スケジュール管理		
	11	11月16日	インターン状況確認/活動状況確認			スケジュール管理		
	12	11月30日	インターン状況確認/活動状況確認			スケジュール管理		
講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する		

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス	
ポートフォリオ			後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科 （選択スタイリスト）	2	A・B	
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師			
	必修		演習80% 講義20%			なし			
科目概要	スタイリスト独立までに必要な作品撮り製作を学ぶ。 作品撮り製作を通して、感性や表現力の向上、世界観の追求を測る。								
習得項目	表現力の習得								
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、その平均値を算出し評価を行う。								
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携	
	1	12月7日	授業説明、撮影自由テーマ企画書作成			企画力、発想力			
		12月14日	撮影			スタイリング力や見せ方			
		12月21日	↓			↓			
		1月11日	撮影データ編集、発表用資料作成			↓			
		1月19日	発表			プレゼンテーション能力			
	2	1月26日	白シャツをテーマに企画書作成			企画力、発想力			
		2月1日	撮影			スタイリング力や見せ方			
		2月8日	発表			プレゼンテーション能力			
	3	2月15日	ファッションショー期間						
		2月22日	↓						
		2月29日	↓						
	講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵		関係実務 経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報 業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の 経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、 就職活動に活かした授業を展開する		

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ポートフォリオ		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科 （選択ビジネス）	2	A・B
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義20%、実習80%			なし		
科目概要	就職に向けた活動、企業研究、作品集作成						
習得項目	業界の動向、就職活動の全体のスケジュール、求められる人物像を分析しながら、仕事や就職活動に対する理解とモチベーションを高め内定を目指す。また社会人において必要なマナーを習得する。 デザインソフト(Illustrator、Photoshop)の基本操作						
評価方法	授業参加、課題提出、筆記テスト。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月7日	就職活動状況確認/アンケート実施		スケジュール管理		
	2	12月14日	就職活動状況確認/個人面談		スケジュール管理		
	3	12月21日	ポートフォリオ制作課題 説明		デザインソフト基本操作		
	4	1月11日	ポートフォリオ制作課題		デザインソフト基本操作		
	5	1月18日	ポートフォリオ制作課題		デザインソフト基本操作		
	6	1月25日	ポートフォリオ制作課題		デザインソフト基本操作		
	7	2月1日	ポートフォリオ制作課題 提出		デザインソフト基本操作		
	8	2月8日	就職活動状況確認/社会人になる前に		スケジュール管理		
	9	2月15日	ショー週間				
	10	2月22日	ショー週間				
	11	2月29日	ショー週間				
講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
商品・ライフスタイル研究		前期	28	35	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義80%、実習20%			なし		
科目概要	生活スタイルが変わっていく中、自分のライフスタイルについて自己分析。より良い暮らしを提案するための技術や発想力を向上させる為に研究し調査を行い、ファッションやアクセサリ、インテリアなど衣食住を意識した提案力を身に付ける。						
習得項目	フライヤーやPOPデザイン、入稿方法などの習得。 スタイリングや店舗にディスプレイする際に必要な小物の知識を深める。 空間も合わせたコーディネートが発案。						
評価方法	クラスルームにて課題制作の進捗報告での意欲姿勢を確認しつつ、プレゼンテーション発表や作品課題の完成度にて評価。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月13日	授業説明/衣食住と私 課題説明		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	2	4月20日	衣食住と私 課題 サンプル紹介		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	3	4月27日	衣食住と私 課題 プレゼンテーション		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	4	5月11日	衣食住と私 課題 プレゼンテーション		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	5	5月18日	衣食住と私 課題 プレゼンテーション		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	6	5月25日	地元のPR 課題説明		PR方法		
	7	6月1日	スポーツイベント				
	8	6月8日	地元のPR 課題プレゼンテーション		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	9	6月15日	地元のPR 課題プレゼンテーション		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	10	6月22日	地元のPR 課題プレゼンテーション		オンラインでのプレゼンテーション方法と資料作成		
	11	6月29日	トレンドとは トレンドの作られ方		トレンド理解		
	12	7月6日	2023 S/S トrendマップ課題 説明		トレンド分析 コラージュ		
	13	7月13日	2023 S/S トrendマップ課題 サンプル紹介		トレンド分析 コラージュ		
	14	7月20日	前期ショー				
講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
商品・ライフスタイル研究		後期Ⅰ	24	30	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	講義80%、実習20%			なし		
科目概要	生活スタイルが変わっていく中、自分のライフスタイルについて自己分析。より良い暮らしを提案するための技術や発想力を向上させる為に研究し調査を行い、ファッションやアクセサリー、インテリアなど衣食住を意識した提案力を身に付ける。						
習得項目	フライヤーやPOPデザイン、入稿方法などの習得。 スタイリングや店舗にディスプレイする際に必要な小物の知識を深める。 空間も合わせたコーディネートの発案。						
評価方法	クラスルームにて課題制作の進捗報告での意欲姿勢を確認しつつ、プレゼンテーション発表や作品課題の完成度にて評価。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標		他授業連携
	1	9月7日	衣食住にまつわるサステナブル				
	2	9月14日	サステナブル日本の現状 アップサイクル 日本の町工場取り組み		商品知識		
	3	9月21日	サステナブル課題 説明 サンプル紹介		商品知識 ブランド知識		
	4	9月28日	サステナブル課題 プレゼンテーション		商品知識 ブランド知識		
	5	10月5日	サステナブル課題 プレゼンテーション		商品知識 ブランド知識		
	6	10月12日	サステナブル課題 プレゼンテーション		商品知識 ブランド知識		
	7	10月19日	サステナブル課題 プレゼンテーション		商品知識 ブランド知識		
	8	10月26日	ライフスタイル提案型 セレクトショップリサーチ 課題説明		商品知識 ブランド知識		
	9	11月2日	ライフスタイル提案型 セレクトショップリサーチ日		商品知識 ブランド知識		
	10	11月9日	ライフスタイル提案型 セレクトショップリサーチ プレゼン		商品知識 ブランド知識		
	11	11月16日	ライフスタイル提案型 セレクトショップリサーチ プレゼン		商品知識 ブランド知識		
	12	11月30日	ライフスタイル提案型 セレクトショップリサーチ プレゼン		商品知識 ブランド知識		
講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する	

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
商品・ライフスタイル研究		後期Ⅱ	22	27.5	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）		企業連携・企業講師		
	必修		講義80%、実習20%		なし		
科目概要	生活スタイルが変わっていく中、自分のライフスタイルについて自己分析。より良い暮らしを提案するための技術や発想力を向上させる為に研究し調査を行い、ファッションやアクセサリー、インテリアなど衣食住を意識した提案力を身に付ける。						
習得項目	フライヤーやPOPデザイン、入稿方法などの習得。 スタイリングや店舗にディスプレイする際に必要な小物の知識を深める。 空間も合わせたコーディネートの発案。						
評価方法	クラスルームにて課題制作の進捗報告での意欲姿勢を確認しつつ、プレゼンテーション発表や作品課題の完成度にて評価。 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況・授業態度						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	12月7日	ライフステージと働き方 講義		ライフステージ理解		
	2	12月14日	在り方と聴く力 講義		ライフステージ理解		
	3	12月21日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 課題説明		企画書作成	デザインクリエイション	
	4	1月11日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 サンプル解説		ペイジーズ基本操作	デザインクリエイション	
	5	1月18日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 サンプル解説		レイアウトの5原則	デザインクリエイション	
	6	1月25日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 課題 進捗確認口		レイアウトの5原則	デザインクリエイション	
	7	2月1日	ライフスタイル提案型 ショップ企画 課題 講評口		レイアウトの5原則	デザインクリエイション	
	8	2月8日	ショー週間				
	9	2月15日	ショー週間				
	10	2月22日	ショー週間				
	11	2月29日	ショー週間				
	講師区分	常勤	講師名	山内 講平		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショー制作演習			前期	28	35	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		演習70%・講義30%			なし		
科目概要	卒業制作ファッションショーに向けて、様々な舞台演出やステージ、ファッションショーの制作、演出を学ぶ。 東京を代表するコレクションブランドのルックブックやコレクションのインビテーションなど印刷物の知見を深める。							
習得項目	専門講師による講義、リサーチによる知識習得と向上 グループディスカッションでのプレゼンテーションスキル習得							
評価方法	レポート提出／授業態度／出欠状況をトータルして評価							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標		他授業連携
	1	4月14日	授業内容説明・スケジュール確認等			スケジュール管理		
	2	4月21日	卒業制作ファッションショー鑑賞 グループディスカッション			ディスカッション		
	3	4月28日	東京コレクションブランド印刷物の解説			レイアウト、DTP理解		
	4	5月12日	舞台演出 講義			演出の効果		
	5	5月19日	グループディスカッション 使用機材確認、予算出し			ディスカッション 予算管理		
	6	5月26日	ファッションショーの演出例 (照明や音響)解説			演出の効果		
	7	6月2日	コレクションムービー鑑賞			演出の効果		
	8	6月9日	舞台演出 講義			演出の効果		
	9	6月16日	コレクションムービー鑑賞			演出の効果		
	10	6月23日	美術セットについて講義			演出の効果		
	11	6月30日	機材、備品棚卸し、リスト作成			備品管理 予算管理		
	12	7月7日	スケジュール表作成			スケジュール管理		
	13	7月14日	グループディスカッション			ディスカッション		
	14	7月21日	前期まとめ					
講師区分	常勤	講師名	山内講平、飯田紗綾 海老名ふたば		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなどアパレル業界においての実務経験を持ち実務で必要な事柄を指導する		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職キャリアデザイン		前期	28	35	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	オンライン講義 100%			なし		
科目概要	就職後に必要となるビジネス知識や社会情勢を理解し、キャリア形成のために必要な知識・マナーを習得する。						
習得項目	・アパレル業界と親和性のある他業界の理解 ・キャリアアップに必要な幅広いビジネス知識 ・社会人に求められる論理思考、文章作成能力の向上						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	4月14日	オリエンテーション（授業の流れ、キャリアアップについて）				
	2	4月21日	「社会人基礎力」について		「社会人基礎力」とその向上方法の理解		
	3	4月28日	ロジカルシンキング		論理的思考の理解		
	4	5月12日	文章表現		文章作成能力の向上		
	5	5月19日	文書作成		ビジネス文書、小論文の作成		
	6	5月26日	会社の種類、構造		会社の種類とその違いの理解		
	7	6月2日	ビジネストrend（サブスクリプション）		サブスクリプション型ビジネスの理解		
	8	6月9日	経営、起業（副業、起業、個人事業について）		起業や独立に必要な知識の習得		
	9	6月16日	ビジネストrend（インバウンド）		インバウンドビジネスの理解口		
	10	6月23日	他業界研究（音楽、映像、エンタメ業界など）		他業界の構造の理解		
	11	6月30日	ビジネストrend（ファンコミュニティ）		ファンコミュニティの理解口		
	12	7月7日	ビジネストrend（AI）		AIに関わるビジネスの理解とAIツールの使用法		
	13	7月14日	今後のファッション業界のビジネス		業界の現状把握		
	14	7月21日	前期修了ショー				
講師区分	常勤	講師名	久野麻衣	関係実務経験	採用、新人研修		

授業科目名		学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
卒業制作ファッションショー制作実習		後期Ⅰ	48	60	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修	演習80%・講義20%			なし		
科目概要	2月末の卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行						
習得項目	企画立案からプレゼンテーションの流れ。実行までの知識習得 各係ごとの作業を通して、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す						
評価方法	役職有無／仕事取り組み／授業態度／出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題		習得目標	他授業連携	
	1	9月1日	授業内容説明・スケジュール確認 リーダー選出		スケジュール管理		
	2	9月8日	バス遠足				
	3	9月15日	ショー全体テーマに向けた企画立案 及び係ごと作業		スケジュール管理		
	4	9月22日	ショー全体スケジュールプレゼンター ション（全校）		プレゼンテーション能力		
	5	9月29日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備		スケジュール管理		
	6	10月6日	第一回プレゼンテーション		プレゼンテーション能力		
	7	10月13日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備		スケジュール管理		
	8	10月20日	運動会				
	9	10月27日	第二回プレゼンテーション		プレゼンテーション能力		
	10	11月10日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備		スケジュール管理		
	11	11月17日	第三回プレゼンテーション		プレゼンテーション能力		
	12	11月24日	各係ごと作業		スケジュール管理		
講師区分	常勤	講師名	山内講平、飯田紗綾 海老名ふたば、 上野菜月、柳澤沙織		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなどアパレル業界 においての実務経験を持ち実務で必要な事柄を 指導する	

授業科目名			学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
卒業制作ファッションショー制作実習			後期Ⅱ	44	55	スタイリスト科	2	A
選択区分	必修 or 選択		授業形態（講義/実習割合）			企業連携・企業講師		
	必修		演習70%・講義30%			なし		
科目概要	2月末の卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行							
習得項目	企画立案からプレゼンテーションの流れ。実行までの知識習得 各係ごとの作業を通して、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す							
評価方法	役職有無／仕事取り組み／授業態度／出欠状況をトータルして評価							
授業計画	ステップ	(月/日)	学習内容・課題			習得目標	他授業連携	
	1	12月1日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備			スケジュール管理		
	2	12月8日	第四回プレゼンテーション			プレゼンテーション能力		
	3	12月15日	各係ごと作業			舞台演出		
	4	12月22日	各係ごと作業			音響、映像の効果		
	5	1月12日	各係ごと作業			広報物作成スキル		
	6	1月19日	各係ごと作業			装飾と動線		
	7	1月26日	各係ごと作業			予算表、リスト作成と管理		
	8	2月2日	各係ごと作業			撮影とデータ格納		
	9	2月9日	各係ごと作業			誘導、アテンド		
	10	2月16日	ショー週間					
	11	3月1日	ショー週間					
	講師区分	常勤	講師名	山内講平、飯田紗綾 海老名ふたば、 上野菜月、柳澤沙織		関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなどアパレル業界においての実務経験を持ち実務で必要な事柄を指導する	